





令和7年度 現地検討会等実施状況 (森林保護)

4	国有林	72
	都道府県	30
	市町村	4
	森林組合	0
	林業事業体 (森林組合を除く)	9
	研究機関	4
	他省庁	0
	その他	0
	合計	119

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	特に効率的な施業を推進する森林の有無(国有林)	出席者	目的	内容	写真
ナラ枯れ被害木くん蒸処理(体験会)	5月21日	檜山森林管理署	●福島町国有林		国有林 20名	ナラ枯れ被害拡大防止に向けた、被害木のくん蒸処理技術の共有を図る。	北海道の「ナラ枯れ被害木処理マニュアル」に沿い、北海道森林管理局、近隣森林管理署のほか、檜山振興局、森林総合研究所の参加協力のもと、伐倒くん蒸処理を現地で実践し、極積・切り込み方法やシートの覆い方・薬剤の使用方法など伐根の処理方法も含め学習した。 意見交換では切り込みの深さや、伐根への薬剤注入穴の数などの質問が出された。 今後は、振興局や市町村等と連携した情報共有、学識経験者の助言を踏まえた体制整備を進め、ナラ枯れ被害拡大防止に向けて取り組むこととした。	
					都道府県 7名			
					市町村 名			
					森林組合 名			
					林業事業体(森林組合を除く) 名			
					研究機関 2名			
					他省庁 名			
					その他 名			
合計 29名	くん蒸処理体験会の様子							
エゾシカ防護柵施工見学会	5月21日	根室振興局	●別海町(私有林167林班47, 48小班)		国有林 4名	根釧地域は、エゾシカの生息数が高い水準にあり、民有林・国有林を問わず、新植した苗木が食害を受けるなどの被害が発生している。 管内の民有林においては、防護対策として防護柵を設置し、高い防護効果があがっていることから、施工地の見学会を実施し、新しい防護対策等を検討・推進する。	現地において、根室振興局から防護柵の仕様等について説明後、施工事業体による防護柵の杭打ち作業を見学し、作業工程や資材に関する意見交換をした。 施工は重機で行うため比較的簡単に実施でき、特殊な技術を要しない。なお、ネットの施工は別作業(別日)であることから、後日、ネットの施工について見学会を開催する予定。	
					都道府県 7名			
					市町村 名			
					森林組合 名			
					林業事業体(森林組合を除く) 名			
					研究機関 名			
					他省庁 名			
					その他 名			
合計 11名	防護柵の杭をグラブにより埋設							

令和7年度 現地検討会等実施状況

(森林保護)

ナラ枯れ被害木のくん蒸処理等の現地勉強会	10月30日	北海道森林管理局 保全課	●知内町国有林	国有林	31名	被害を早期に発見し、被害木の特 定・処理を行い今後のナラ枯れ被害 対策を推進するため。	ナラ枯れ被害木の判定方法、伐倒くん蒸・立木くん蒸 処理の実演、意見交換等を実施した。今後も被害拡大防 止に向け、北海道庁、森林総合研究所北海道支所、関係 自治体、林業事業者等と連携し、対策を進めていく。	
				都道府県	3名			
				市町村	4名			
				森林組合	名			
				林業事業者(森 林組合を除く)	9名			
				研究機関	2名			
				他省庁	名			
				その他	名			
合計	49名	<p>薬剤散布作業実演の 様子</p>						
エゾシカ大型囲いわな現 地見学会	11月27日	胆振東部森林管理署	●苫小牧市(丸山国有林1280林 班)	国有林	17名	胆振地域林政連絡会議研修テーマ として、当署が発注している「大型 囲いわな」を活用したエゾシカ捕獲 の取組を紹介。本取組は森林被害、 農業被害、交通事故の防止に寄与す るものであり、管内の林業関係者に 広く周知し、今後の参考としていた だく。	受託者から「大型囲いわな」による捕獲方法、注意事 項などを説明し、現地視察を行い、意見交換を実施した	
				都道府県	13名			
				市町村	名			
				森林組合	名			
				林業事業者(森 林組合を除く)	名			
				研究機関	名			
				他省庁	名			
				その他	名			
合計	30名	<p>大型囲いわな見学会の様子</p>						